



Personal MBA

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

今日企業は、その変化という時代に生きるのである。変化を生き残るものは、自ら変化できるものである。

独創性は、最も慎重な分析と理解の拡大における未知の創造である。この視点からアメリカの先端産業を考察するとき、彼らの創造性の偉大さを理解できるのである。

可能性を否定するものは現実を否定するものである。

これらは企業の飛躍は、既存現実から未来という無限の可能性へ参加することであると定義することは可能である。

すべての英雄は、現実の有する可能性を具現したものであるならば、今日企業はこれを自己とすることができるのである。

また、努力は唯一結果を与える基盤であり、その基盤が飛躍を与えることができるのである。

これらは企業は経営者において、自己を有することを意味するものである。そのもとで社員は自己の創造性を与えられるのである。

先端企業システムは、自己のプレゼンス、コアコンピタンスを永続させることができる。MBA システムにおける企業の完成は、その弱さから、強さへ転換できるのである。

これらは、トーマスエジソンの、天才とは、99%の努力と1%のひらめきであるという言葉が、企業においても理解できるかもしれない。

未来を与えるのは今日唯一新しい現実なのである。それが今日の経済の真実なのである。そのため企業はその開発において、未来を与えられるのである。

